

平成 20 年度 農作物病虫害発生予察 10 月月報

平成 20 年(2008年) 11 月 4 日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
10.1	20.1	19.3	0.8	25.8	24.8	1.0	15.7	14.7	1.0
10.2	20.2	18.4	1.8	25.7	24.0	1.7	15.7	13.7	2.0
10.3	18.3	17.5	0.8	24.7	23.2	1.5	13.3	12.7	0.6
10.4	19.0	16.4	2.6	27.0	22.4	4.6	12.7	11.4	1.3
10.5	19.1	15.3	3.8	24.2	21.4	2.8	15.1	10.1	5.0
10.6	14.4	14.4	0.0	19.6	20.5	△ 0.9	10.8	9.2	1.6
平均・計	18.4	16.8	1.6	24.3	22.6	1.7	13.8	11.9	1.9
月・半旬	平均湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	10.1	73	78	△ 5	9.5	19.9	△ 10.4	33.8	27.2
10.2	77	76	1	5.5	17.7	△ 12.2	26.1	28.1	△ 2.0
10.3	72	76	△ 4	0.0	16.9	△ 16.9	37.7	28.5	9.2
10.4	69	76	△ 7	0.0	15.0	△ 15.0	46.1	28.9	17.2
10.5	74	75	△ 1	6.0	12.8	△ 6.8	18.6	29.3	△ 10.7
10.6	75	77	△ 2	0.5	15.5	△ 15.0	21.3	34.3	△ 13.0
平均・計	73	76	△ 3	21.5	97.8	△ 76.3	183.6	176.3	7.3

II 作物の生育状況

(1) カンキツ : 着色は平年並みであった。

(2) キャベツ・ハクサイ・はなっこりー

: 定植時期の降雨等により定植が一部で遅延した。その後生育は順調に推移したが、ここ最近の乾燥により、生育はやや遅延気味となった。

(3) イチゴ

: 秋の気温低下が順調であったことから、頂花房および第一次腋花房の花芽分化は順調であり、現在「とよのか」は出蕾～開花期である。

Ⅲ 病害虫の発生概況

1 果樹

2008年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (平年100%)、発病果率64.4% (平年81.4%)、発病度11.0(平年18.9)で平年に比べ少なかった。	県内全域	中 885 少 644 計 1,529
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年23.9%)、発病果率1.0%(平年3.8%)、発病度0.2(平年1.2)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 321
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.7% (平年25.0%)、寄生葉率4.5%(平年2.9%)平年並みであった。	県内全域	多 80 少 322 計 402
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年21.0%)、被害果率0.2%(平年1.2%)、被害度0.1(平年0.5)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 80
ハマカゲラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年17.8%)、寄生果率0.2%(平年0.7%)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 161
チャノキアザミマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率36.8% (平年48.2%)、被害果率0.9%(平年2.1%)、被害度0.3(平年0.6)で平年並みであった。	県内全域	少 563
果樹全般 カメムシ類 (チャブネカメムシ、 ツヤアカメムシ、クサギカ メムシ)	9月5半旬～10月4半旬の予察灯(5か所計)における誘殺数は298頭(平年115頭)で平年に比べやや多かった。優占種はツヤアカカメムシであった。	県内全域	—

2 野菜

2008年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ハクサイ (調査ほ場数： 中旬12ほ場 下旬 8ほ場) 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年10.0%)、発病株率1.0%(平年1.0%)、発病度0.5(平年0.5)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5% (平年22.2%)、発病株率0.3%(平年1.7%)、発病度0.1(平年0.6)で平年並みであった。	県内全域	少 59

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ハクサイ 白斑病	初発生は10月15日(平年10月6日)に調査ほ場の調査株以外で認められ、平年に比べ遅かった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年11.5%)、発病株率0%(平年3.2%)、発病度0(平年1.1)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0%(平年16.5%)、発病株率1.8%(平年5.8%)、発病度0.4(平年2.2)で平年並みであった。	県内全域	少 40
べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年43.0%)、発病株率0%(平年20.6%)、発病度0(平年6.1)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年58.9%)、発病株率0%(平年31.1%)、発病度0(平年9.3)で平年に比べ少なかった。	—	—
黒斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7%(平年20.1%)、発病株率0.5%(平年4.9%)、発病度0.1(平年1.2)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0%(平年25.4%)、発病株率8.5%(平年5.9%)、発病度2.1(平年1.5)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 79
モザイク病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5%(平年0.9%)、発病株率0.1%(平年0.02%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 20
炭疽病	中旬の巡回調査で、1ほ場で発生を認め、発病株率は46.0%であった。	下関市	—
ハイマダラノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3%(平年6.0%)、寄生株率0.2%(平年0.3%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.6%)、寄生株率0%(平年0.1%)で平年並みであった。	県内全域	少 20

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ハクサイ コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年8.7%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.3頭) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年10.2%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.3頭) で平年に比べやや少なかった。	—	—
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年23.8%)、寄生株率0.5% (平年1.1%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5% (平年19.3%)、寄生株率0.1% (平年0.8%) で平年並みであった。	県内全域	少 40
シロイチモジヨ トウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年0%)、寄生株率0.3% (平年0%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0%)、寄生株率0% (平年0%) で平年並みであった。	—	少 20
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年9.1%)、寄生株率0% (平年0.4%) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年6.8%)、寄生株率0% (平年0.2%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年4.4%)、寄生株率0.2% (平年0.1%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.7%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	県内全域	少 20
キャベツ (調査ほ場数： 中旬12ほ場 下旬12ほ場) 黒腐病	初発生は10月14日 (平年10月17日) に認められ、平年並みであった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年7.3%)、発病株率1.0% (平年2.8%)、発病度0.3 (平年0.7) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年16.3%)、発病株率0.7% (平年2.3%)、発病度0.2 (平年0.5) で平年並みであった。	県内全域	少 31

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ 黒斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7%、発病株率0.7%であった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3%、発病株率0.3%であった。	県内全域	少 31
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年18.4%)、10株当たり虫数0.3頭 (平年0.6頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年15.5%)、10株当たり虫数0.4頭 (平年0.6頭) で平年並みであった。	県内全域	少 62
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年13.8%)、10株当たり虫数0.3頭 (平年0.5頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年23.5%)、10株当たり虫数0.2頭 (平年0.9頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 31
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年15.4%)、寄生株率0% (平年0.7%) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年15.4%)、寄生株率0.5% (平年0.4%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 62
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率58.3% (平年57.4%)、寄生株率2.8% (平年5.9%) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年46.8%)、寄生株率5.1% (平年3.1%) で平年並みであった。	県内全域	多 15 中 31 <u>少 77</u> 計 123
シロイチモジヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年9.9%)、寄生株率0% (平年0.4%) でやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年7.9%)、寄生株率0% (平年0.3%) でやや少なかった。	—	—
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年24.1%)、寄生株率2.0% (平年2.5%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年17.6%)、寄生株率4.6% (平年0.8%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多 15 中 31 <u>少 77</u> 計 123

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平年2.1%)、寄生株率1.5%(平年1.8%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年24.7%)、寄生株率4.8%(平年1.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 15 <u>少 62</u> 計 77
ハイマダラノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年9.1%)、寄生株率0%(平年0.9%)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年2.8%)、寄生株率0%(平年0.1%)で平年並みであった。	—	—
トマト(雨よけ) (調査ほ場数:6) 疫病	中旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
灰色かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年10.0%)、発病果率0%(平年0.5%)、発病度0(平年0.3%)で平年並みであった。	—	—
葉かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%(平年96.7%)、発病株率30.3%(平年78.8%)、発病葉率25.7%(平年54.6%)で平年に比べ少なかった。	阿東町 萩市 (旧むつみ村)	中 6 <u>少 6</u> 計 12
輪紋病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0%(平年35.3%)、発病株率22.0%(平年6.7%)、発病葉率8.1%(平年2.9%)で平年に比べやや多かった。	阿東町 萩市 (旧むつみ村)	少 19
すすかび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7%(前年11.1%)、発病株率24.4%(前年6.7%)、発病葉率14.8%(前年3.6%)で前年に比べ多かった。	阿東町 萩市 (旧むつみ村)	甚 6 中 6 <u>少 13</u> 計 25
うどんこ病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0%(前年33.3%)、発病株率19.3%(前年23.3%)、発病葉率9.5%(前年9.6%)で前年並みであった。	阿東町 萩市 (旧むつみ村)	多 6 <u>少 13</u> 計 19
コシラネ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%(平年57.5%)、寄生株率2.6%(平年31.9%)で平年比べやや少なかった。	阿東町 萩市 (旧むつみ村)	少 12
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年11.7%)、寄生株率0%(平年0.5%)で平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
トマト(雨よけ) ハモグリバエ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平成90.0%)、寄生株率35.5%(平成63.4%)、寄生葉率14.8%(平成34.5%)で平年に比べ少なかった。	阿東町 萩市 (旧むつみ村)	中 12 少 13 計 25
イチゴ (調査ほ場数：20) (高設：11) (土耕：9) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平成12.6%)、発病株率10.5%(平成2.5%)、発病葉率5.4%(平成1.4%)で平年に比べやや多かった。一部ほ場で多発生が認められた。	県内全域	多 17 少 6 計 23
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平成6.0%)、発病株率0.5%(平成0.5%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 12
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成1.9%)、発病株率0%(平成0.1%)で平成並みであった。調査ほ場の調査株以外で発生が認められた。	県内全域	少 1
菌核病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平成並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平成24.4%)、寄生株率6.8%(平成3.4%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 6 少 31 計 37
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平成14.9%)、寄生株率8.5%(平成3.5%)で平年に比べ多かった。	県内全域	多 6 中 6 少 25 計 37
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平成31.7%)、寄生株率1.3%(平成1.5%)で平成並みであった。	県内全域	中 6 少 24 計 30
はなっこりー (調査ほ場数：4) 軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25% (前年0%)、発病株率0.5%(前年0%)で前年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(前年0%)、発病株率0%(前年0%)で平成並みであった。	県内全域	少 6
菌核病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平成並みであった。	—	—
白斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (前年20.0%)、発病株率5.3%(前年0.1%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (前年0%)、発病株率13.0%(前年0%)で前年に比べ多かった。	県内全域	中 6

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
はなっこりー モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (前年100%)、10株当たり虫数3.3頭(前 年3.6頭)で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0% (前年75.0%)、10株当たり虫数4.8頭(前 年2.0頭)で前年並みであった。	県内全域	少 22
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (前年40.0%)、10株当たり虫数2.0頭(前 年0.4頭)で前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0% (前年50.0%)、10株当たり虫数1.0頭(前 年0.5頭)で多かった。	県内全域	少 22
ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (前年60.0%)、寄生株率2.0%(前年8.4)で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (前年100%)、寄生株率3.0%(前年7.0%) で前年に比べ少なかった。	県内全域	多 5 中 6 少 6 計 17
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (前年100%)、寄生株率6.3%(前年27.6)で前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0% (前年100%)、寄生株率5.3%(前年9.3)で前年に比べ少なかった。	県内全域	少 22
オオタバコガ	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず、前年並みであった。	—	—
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(前 年80.0%)、寄生株率0%(前年20.0%)で 前年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(前 年75.0%)、寄生株率0%(前年15.0%)で 前年に比べ少なかった。	—	—
シロイチモジヨ トウ	中旬の巡回調査では、発生は認められず 前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(前 年25.0%)、寄生株率0%(前年0.5%)で 前年に比べ少なかった。	—	—
ハイマダラノメ イガ	中旬の巡回調査では、発生は認められず 前年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(前 年50.0%)、寄生株率0%(前年1.0%)で 前年に比べ少なかった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																								
野菜全般 ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップによる10月の誘殺数は、3,291頭(平年2,404頭)で平年に比べやや多かった。</p> <p>表 フェロモントラップでの9月5半旬～10月4半旬の誘殺数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>概評</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国市</td> <td>755</td> <td>591</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>6,781</td> <td>3,539</td> <td>多</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>749</td> <td>651</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>372</td> <td>415</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>1,603</td> <td>3,053</td> <td>前年より少</td> </tr> </tbody> </table>	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評	岩国市	755	591	平年並	周南市	6,781	3,539	多	阿東町	749	651	平年並	萩市	372	415	平年並	下関市	1,603	3,053	前年より少	県内全域	—
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評																								
岩国市	755	591	平年並																								
周南市	6,781	3,539	多																								
阿東町	749	651	平年並																								
萩市	372	415	平年並																								
下関市	1,603	3,053	前年より少																								
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる10月の誘殺数は、17頭(平年30頭)で平年並みであった。	県内全域	—																								

注) イチゴ萎黄病の10月下旬の平年値は、過去8年の平均値。

お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ

電 話 083-927-4006
 F A X 083-927-4071
 テレホンサービス 083-927-4649

作物 担当者
 普通作：藤村(病害) 中川(虫害)
 果 樹：村本(病害) 殿河内(虫害)
 野 菜：岡田(病害) 溝部(虫害)